

日時 平成27年9月18日
午後7時～9時
場所 島尾自治公民館





コンビニ交付の実施に向けて

コンビニ交付サービスの検討に至った背景

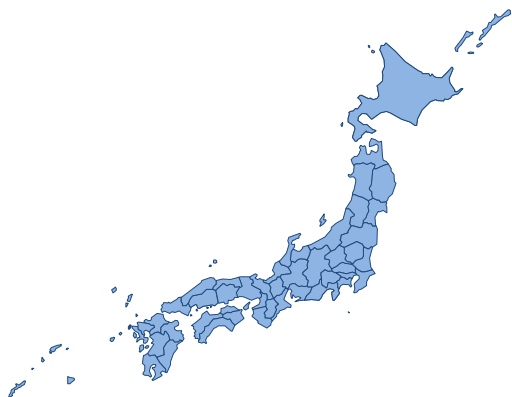
- 平成27年度中に交付機とサーバーの更新が必要となる
- 住民ニーズの高まり
 - ・サービス拠点拡大の要望
- 行政サービスに対するニーズの多様化
 - ・銀行ATMの夜間休日利用、コンビニATMの定着
- 行政手続きの簡素化
 - ・申請手続きの簡素化への要望



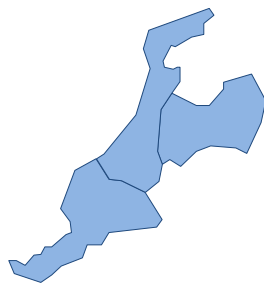
コンビニ交付サービス実施による課題解決

導入効果① 発行拠点数の拡大

コンビニ交付サービスの最大の特徴は、
証明書交付拠点数が格段にふえます。



全国約46,000店舗



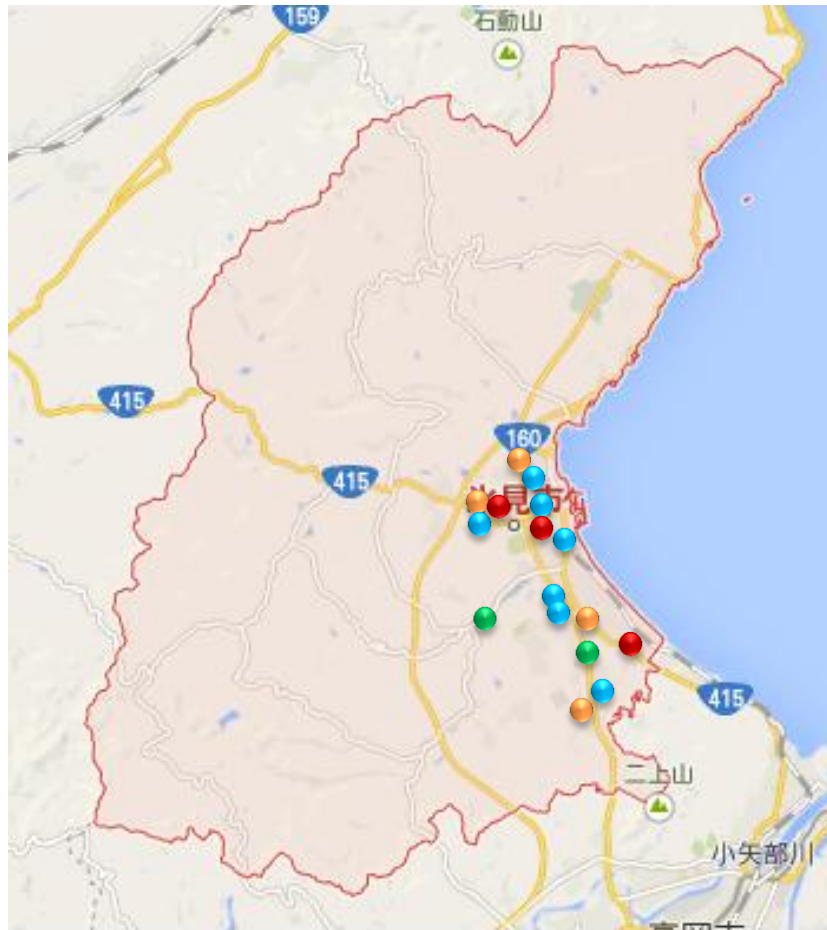
北陸三県約1,300店舗



富山県内約460店舗

導入効果① 発行拠点数の拡大

氷見市内のコンビニは合計16店舗
証明書を取得できる場所が大幅に拡大



- セブンイレブン（4店舗）
- ローソン（7店舗）
- ファミリーマート（2店舗）
- サークルKサンクス（3店舗）

導入効果② サービス提供時間の拡大

コンビニ交付サービス実施により
さらに提供時間を拡大します。

現在の氷見市証明書交付提供時間

	平日	土日・祝日
市民課窓口	08:30-17:15	-
証明書自動交付機	09:00-19:00	08:30-17:00

コンビニ交付サービス導入後の証明書交付提供時間

	平日	土日・祝日
市民課窓口	08:30-17:15	-
全国各コンビニ店舗	06:30-23:00	06:30-23:00

導入効果③ 戸籍証明書の対応

将来的には住民の証明書取得の機会は減るが、印鑑証明や戸籍証明は必要

老齢厚生年金の加給年金額の加算に関する手続

現状

住民票や所得証明書等の添付書類に基づき審査。

今後

住民票や所得証明書の添付書類の省略が可能。

児童扶養手当の認定申請

現状

住民票、所得証明書等に基づき審査。年金受給情報は、年金保険者に照会。

今後

住民票、所得証明書の添付を省略し、必要に応じて所得情報等は他市町村に照会。

SUZUKA

SUZUKA

SUZUKA

SUZUKA

さあ、

コンビニで証明書を
取ってみましょう♪



SUZUKA

SUZUKA

SUZUKA

SUZUKA

SUZUKA

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 昨年のふれあいトーク報告
- 5 地区の事業概要
- 6 質疑応答
- 7 地方創生について
- 8 意見交換会
- 9 閉会あいさつ

あいさつ

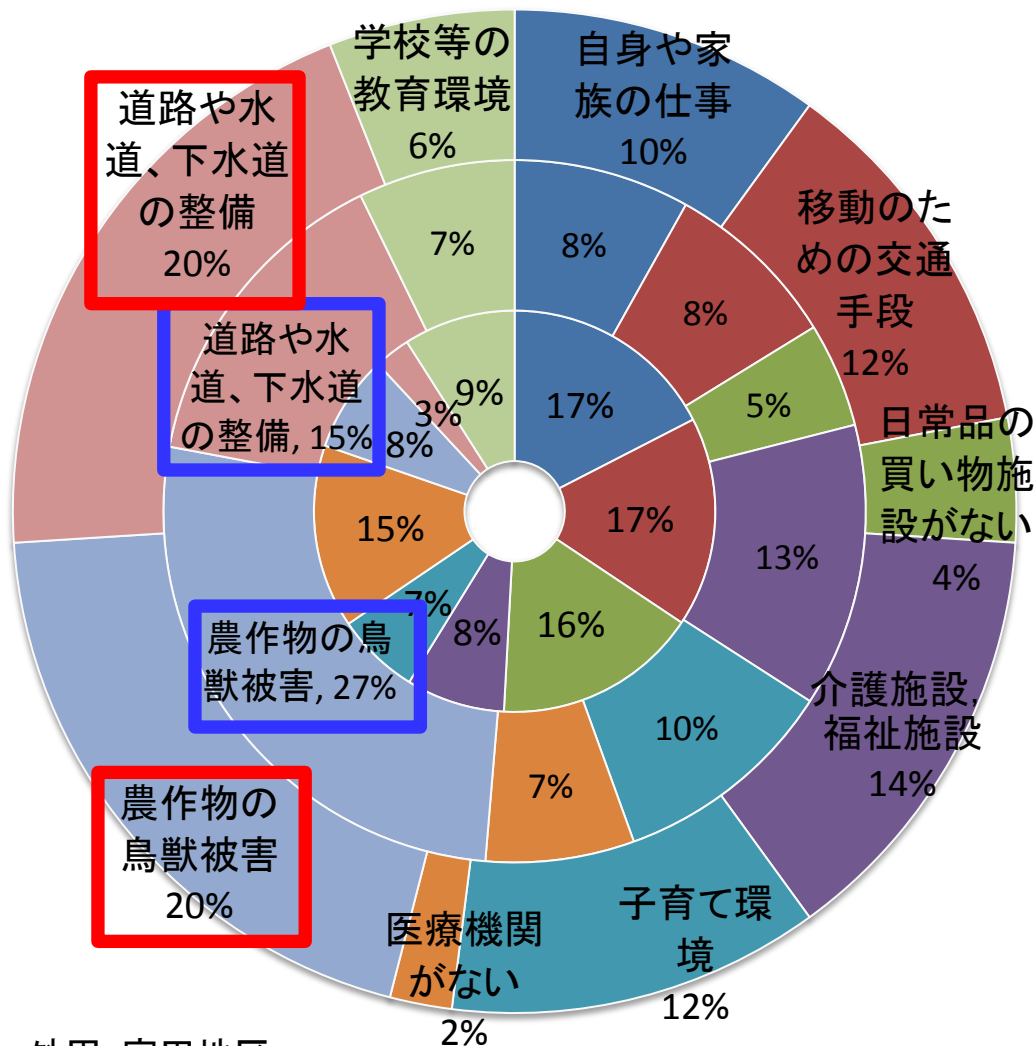
市長あいさつ

役職	氏名	所管部署等
氷見市長	本川祐治郎	
市長政策・都市経営 戦略部長	高橋 正明	秘書・市民情報課 地方創生と自治への未来対話推進課 芸術文化マネジメント室 スポーツ文化マネジメント室 地域防災室
地方創生政策監	宮本 祐輔	地方創生総合戦略策定や氷見市人口ビジョンに関すること
防災・危機管理監	濱井 博文	自然災害や原子力災害対応
まちづくり推進部	荒井 市郎	都市計画・まちのグランドデザイン課 商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課 海浜植物園・花みどり推進室 魚々座・漁業文化推進室
総務部長	桶元 勝範	総務課 財務課 税務課
市民部長	山口 優	福祉介護課 子育て支援課 市民課 健康課 病院事業管理室 環境・交通防犯課
建設農林水産部長	福嶋 雅範	建設課 上下水道課 農林畜産課 いのしし等鳥獣害対策室 水産振興課
教育次長	草山 利彦	教育総務課 学校教育課 教育総合センター 図書館 博物館
地域担当職員	三島 幸浩	(所属) 農業委員会事務局
地域担当職員	新井 暢明	(所属) 農林畜産課
地域担当職員	濱手 千悠	(所属) 地方創生と自治への未来対話推進課

昨年のふれあいトーク報告

困り事

日々の生活の中で、不便なことや不安に思ったこと、困ったことはありませんか？



外円:宮田地区
中円:氷見市全体
内円:全国農漁村調査結果

関心事

ふれあいトークではどの項目に関心をお持ちですか？

環境整備

松田江浜のゴミ問題

人口減対策

人口問題について

イノシシ

交通安全

少子化対策

環境美化、子育て支援

人口減少について今後に期待

子どもの教育について充実していきたいとの事、一番大切だと思います

子育て支援について。支援者が不足がちなということが心配

土木事業が問題が多い

重点要望事項に対する回答

治水、道路の整備、子育て支援

環境マナー、地域のあり方

対応済

1101-予算配分の決まり
1103-泉の杜公園の交通安全対策
1104-公園管理と刈り取った雑草処理
1107-泉川整備を県に要望してほしい
1110-イノシシ対策（継続）
1116-公民館の設置区分
1119-海岸清掃

27年度内

1106-下田子1号線の交通安全
1109-人口減対策（継続）
1112-島尾東13号線の拡幅 側溝(25/1239)
1118-小中学校の後援会

可能

28年度以降

1105-公園に鉄棒
1111-新川橋の拡幅
1113-島尾中央線の側溝

国・県等市以外の事業

1102-宮田地区の川流れにくい(25/1243)
25/1244-西條畑地灌漑

参考意見

1115-福祉推進員の配置
1117-老人会の弱体化

不可能

未定

1108-下田子海老坂線に消雪(25/2078)
1113-島尾中央線の消雪
1114-カカやき団地の下水道整備

ハード

電気柵、ワイヤーメッシュによる
侵入防止総延長 約400km
捕獲檻17基増設予定 総数109基



ソフト（環境づくり）

エサや隠れ場所対策等の周知用チラシ
シ、パトロール強化



捕獲数

9/17現在 **414頭**

26年度 同時期198頭 年計412頭

お問合せ先

いのしし等鳥獣対策課

電話 30-7088

測量設計業務委託

工期 H27.7/22~8/28 委託料221万円

道路舗装補修工事

計画 H27年度 10月入札予定 延長 180m



氷見市の空き家対策

①空き家情報バンク制度

市内の空き家を売りたい・貸したい方に、空き家登録をしていただき、市外の方を対象に紹介

全登録数11軒 宮田地区内0軒 (9/18現在)

②セカンドライフ住宅取得補助金

空き家バンク登録者が、登録物件を購入した場合、購入費又はそのリフォーム費の1/2補助(上限50万円)

③定住促進家賃補助金

空き家バンク登録者が、登録物件を借りた場合に家賃の1/2補助(月上限2万円・2年間)

④田舎暮らし体験ゲストハウス

市内への移住を考えている方を対象にした、生活体験宿泊施設(最高6泊まで可)

⑤まちなか地区居住支援補助金

まちなかの居住者が、隣接する土地を売買した場合、購入者と売却者に補助

購入者1㎡につき2千円・上限20万円

売却者1㎡につき1千円・上限10万円

⑥住宅取得支援補助金

市内で住宅を取得または増改築をした場合、固定資産税相当額を2年間補助(上限50万円)

ただし対象者要件あり

⑦空き家紹介奨励補助金(H27新規)

空き家情報バンクに登録可能な空き家及びその所有者を市に紹介した方に対し、成約1件当たり2万円を補助

⑧フレンドリー定住モデルコース(H27新規)

主に「子育て世帯」を対象として、知りたい・感じたいことを1泊から2泊で体験していただく。参加費は無料。ただし、島尾ゲストハウスの宿泊費、食費や氷見までの往復交通費は参加者負担

⑨危険老朽空き家対策事業

市街地で土地を含めて市に寄附のあった住宅を市が解体撤去

⑩危険老朽空き家対策事業補助金

廃墟になった空き家の取り壊し費用の2/3補助(上限30万円→**50万円にアップ**)

ただし地域活性化で土地利用することなどの要件あり

空き家情報バンク物件

No.	住所	条件	延べ床面積	建築時期
1	氷見市柳田	賃貸	217m ²	昭和52年頃
2	氷見市北大町	賃貸	179m ²	
3	氷見市中波	売却	228.52m ²	昭和43年頃
4	氷見市幸町	賃貸	114m ²	
5	氷見市七分一	賃貸	85.38m ²	昭和50年頃
6	氷見市阿尾	賃貸	175.54m ²	昭和40年頃
7	氷見市南大町	賃貸	101.25m ²	昭和45年頃
8	氷見市朝日丘	賃貸	160.9m ²	昭和41年頃
9	氷見市朝日本町	賃貸	117m ²	昭和46年頃
10	氷見市見内	売却	75坪	昭和35年頃
11	氷見市姿	売却	113.93m ²	昭和48年頃



宮田地区の事業概要

実施 年度	工 事 名	工事場所	契約(予定)日	完成(予定)日	契約金額または 予算額
H27	小竹川河川改修工事	小竹	H27.5.7	H27.6.23	1,195,560
H27	市道下田子海老坂線路肩補修工事	小竹	H27.5.8	H27.7.31	339,552
H27	上田子農道3号線測量調査業務委託	上田子	H27.5.28	H27.7.24	1,533,600
H27	上田子地区消雪施設用地測量及び管理 橋設計委託	上田子	H27.5.28	H27.7.31	2,678,400
H27	市道島尾東13号線測量調査設計業務委託	島尾	H27.5.28	H27.9.30	2,845,800
H27	上田子村道3号線道路改良工事	上田子	H27.6.24	H27.11.30	8,542,800
H27	上田子污水管渠布設第27－1工区工事	上田子	H27.7.3	H27.10.2	5,032,800
H27	宮田地内配水管布設替工事	宮田	H27.6.24	H27.10.2	23,760,000
H27	上泉地内排水路改良工事	上泉	H27.7.22	H27.9.30	4,590,000
H27	市道上田子3号線・6号線舗装新設工事	上田子	H27.7.22	H27.11.30	8,726,400
H27	市道下田子1号線測量設計業務委託	下田子	H27.7.22	H27.8.28	2,214,000
H27	配水管布設替設計(その3)委託	島尾	H27.7.22	H27.9.11	1,566,000
H27	市道泉川左岸線舗装新設工事	島尾	H27.9.8	H27.11.20	1,263,600
H27	市道下田子海老坂線側溝改修工事	小竹	H27.9月下旬予定		2,500,000
H27	上田子污水管渠布設に伴う舗装本復旧工事	上田子	H27.9月下旬予定		1,500,000
				H27計	68,288,512

小竹川河川改修工事



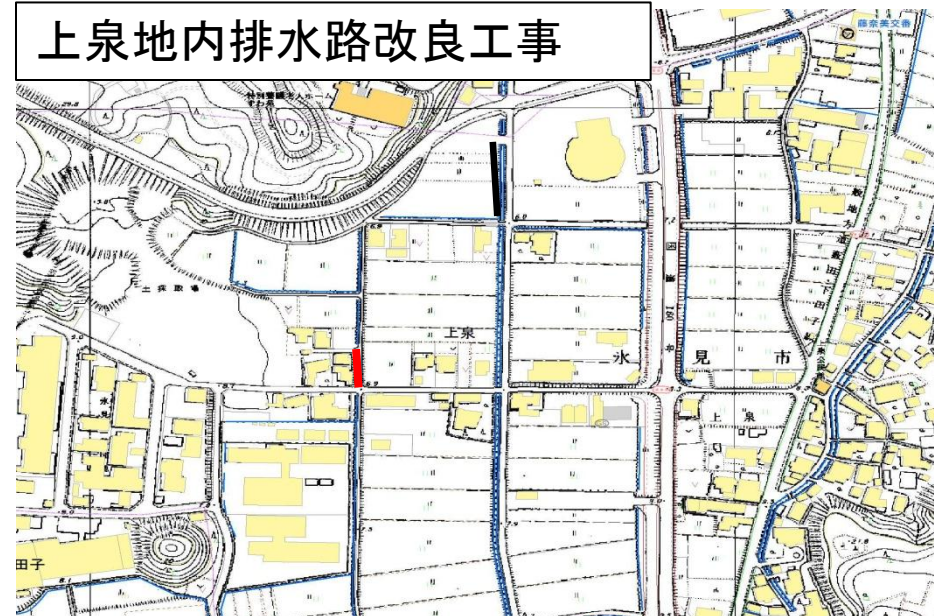
下田子海老坂線路肩補修工事



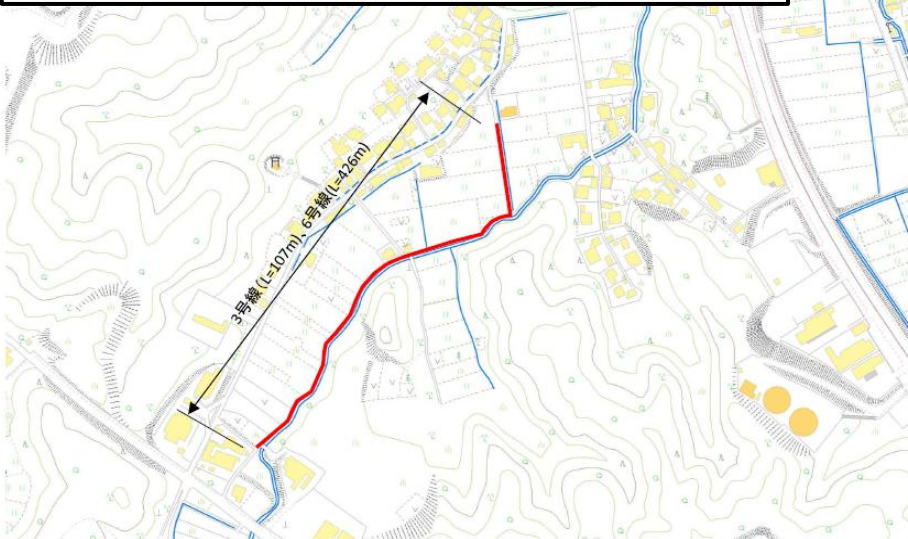
上田子農道3号線測量調査業務委託



上泉地内排水路改良工事



上田子3号線・6号線舗装新設工事



泉川左岸線舗装新設工事



下田子1号線測量設計業務委託



下田子海老坂線側溝改修工事



実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 または予算額	担当課	備考
H27	安心生活創造事業	高齢者世帯等の見守り及び買い物支援等を行い、住み慣れた地域で安心して生活できる体制を整備する。	300,000	福祉介護課	H25～
H27	健診PR活動(旗立て)	受診勧奨のため、地区内に健診PRの旗をたてる(7～9月)	2,000	健康課	
H27	健康ウォーキング	地区一般住民を対象としたウォーキング教室を実施(7月26日)	5,000	健康課	
H27	子育て広場	地域の保育園を会場に年1回、未就園児とその家族を対象に健康教室を行い、家族ぐるみで健康づくりの実践ができるように働きかける。(8月5日)	2,000	健康課	
H27	健康教育(宮田校区大運動会にて健康に関するクイズを取り入れた競技の実施)	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に実施。(10月4日)	職員対応	健康課	
H27	幼児食らくらくメニュー講座	乳幼児とその保護者を対象に教室を開催し、食生活等の改善を図る。(10月16日)	7,000	健康課	
H27	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。(秋～冬頃)	2,100	健康課	
H27	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。(秋～冬頃)	3,000	健康課	

実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 または予算額	担当課	備考
H27	道路の原材料支給事業	小竹 簡易舗装材 V=20m3	172,800	建設課	
H27	道路の原材料支給事業	島尾 側溝蓋 76枚	121,640	建設課	
H27	水路整備地域支援事業	島尾	462,433	建設課	
H27	土地改良支援事業費	〔島尾〕 パイプライン布設	85,000	建設課	
H27	土地改良支援事業費	〔島尾〕 パイプライン布設	95,000	建設課	
H27	土地改良支援事業費	〔下田子〕 水路改修	100,000	建設課	
H27	土地改良支援事業費	〔小竹〕 水門改修	100,000	建設課	
H27	氷見市有害鳥獣被害防 止対策補助金	電気柵 宮田 1件	10,000	いのしし等鳥 獣害対策室	
		H27計	1,467,973		

質疑応答

地方創生について

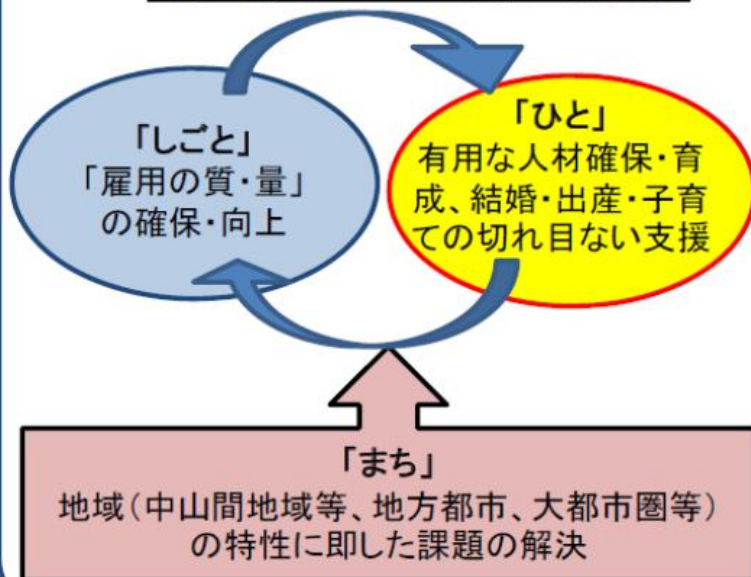
まち・ひと・しごと創生に関する基本的考え方

【基本的考え方】

【基本的視点】

- ①東京一極集中の歯止め
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望実現
- ③地域の特性に即して課題解決

「しごと」と「ひと」の好循環、
それを支える「まち」の活性化



【過去の政策検証】

- 「縦割り」構造
・政策手法が似通い、施策の重複や小粒な事業の乱立
- 「全国一律の手法」
・使用目的が縛られ、地域特性や主体性が考量されない
- 「バラマキ」
・客観的な成果検証と運用の見直しメカニズムが不足
- 「表面的な」取組
・対症療法的施策は構造的問題への対処に改善の余地
- 「短期的」な成果
・短期間で変更・廃止を繰り返す施策が多い

【政策5原則】

- 自立性** 地方自治体・民間事業者・個人等の自立につながる
- 将来性** 地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援
- 地域性** 各地域は地方版総合戦略を策定、国は利用者の側から人的側面を含めた支援を実施
- 直接性** ひと・しごとの移転・創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施
- 結果重視** 短期・中長期の数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証、改善

「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」の意義 —人口減少時代の新たな行政革新—

1. 地域の現状・将来に関するデータ分析—「分析企画」

- ・客観的データに基づく戦略策定
 - ・行政と地域住民の意識共有
- 「地方人口ビジョン」
「地域経済分析システム(RESAS)」

2. 「積極戦略」と「調整戦略」の同時対応—「複眼思考」

- ・「積極戦略」: 人口減少の歯止めのための戦略(人口流出防止、出生率向上)
- ・「調整戦略」: 人口減少に即した戦略(効果的・効率的な行政・まちづくり)

3. 地域の「産官学金労言」の参画—「調整結集」

- ・政策の「縦割り」を排除して、各分野の政策・事業・人材を結集
- ・幅広い各層(女性や若者、外部人材も)の意見汲み上げ、産業・学界・金融・労働・マスコミの参画
- ・「縦割り」の排除⇒各分野の政策・事業の「組み合わせ」

4. 「数値目標」の設定と5か年の「PDCAサイクル」の徹底—「成果重視」

- ・5年先の「数値目標(成果目標)」設定。その後、毎年効果検証、的確な政策見直し
- ・「予算重視」から「決算・成果重視」へ

5. 市町村間の連携—「広域連携」

- ・広域圏などで複数市町村が総合戦略を共同作成
- ・個別事業(広域観光、都市農村交流など)での市町村連携

「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定プロセス

＜地方人口ビジョン＞

- 人口の現状分析
- 人口の将来展望

＜地方版総合戦略＞

- 基本目標(成果目標)
- KPI(重要業績評価指標)

- 各分野の施策

氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの基本目標

基本目標Ⅰ

(安定した雇用を創出する)

氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす

基本目標Ⅱ

(新しいひとの流れをつくる)

「定置網のように回遊する人材を受け止めるまち氷見」を実現する

基本目標Ⅲ

(結婚・出産・子育ての希望をかなえる)

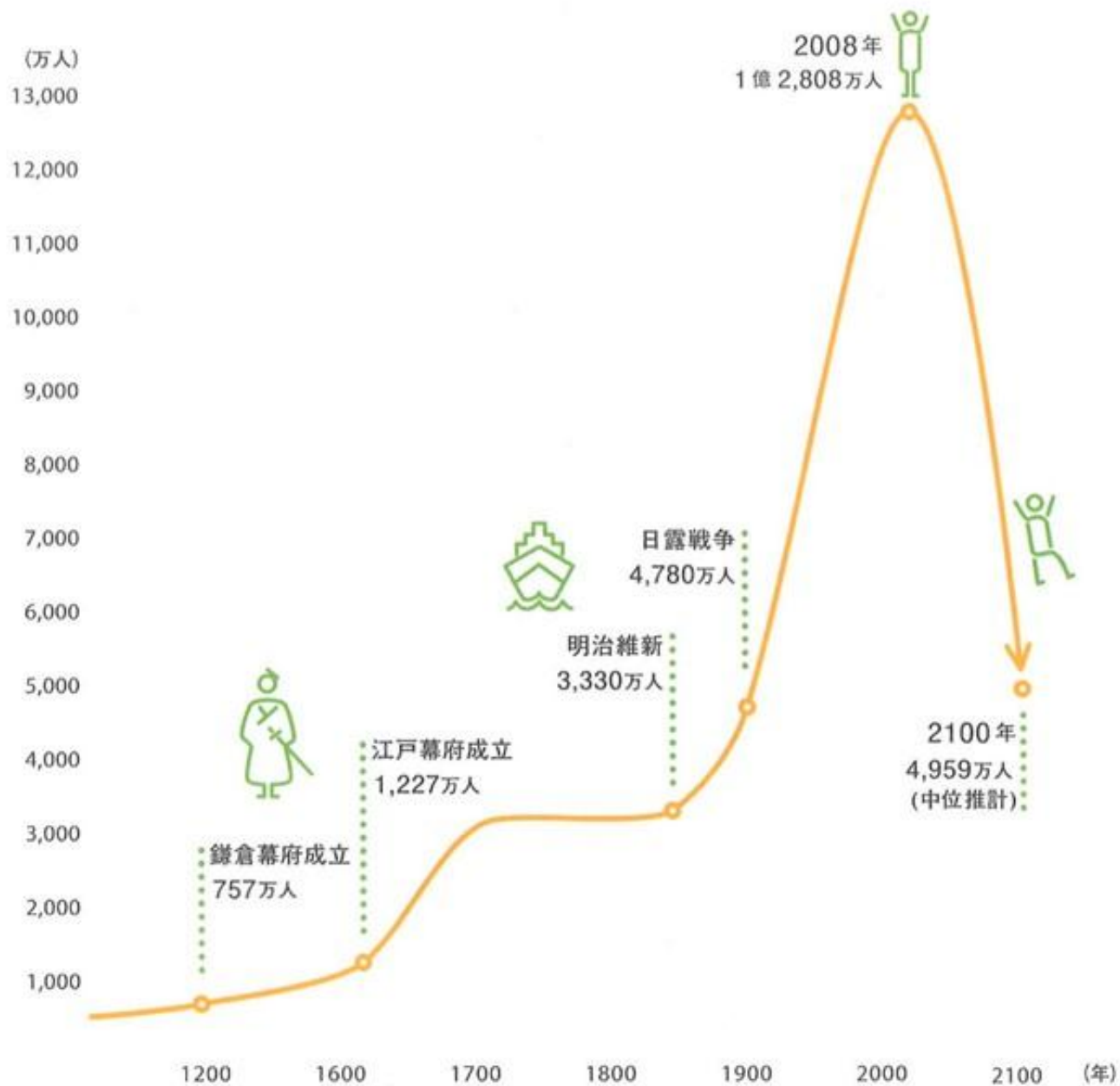
氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす

基本目標Ⅳ

(時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する)

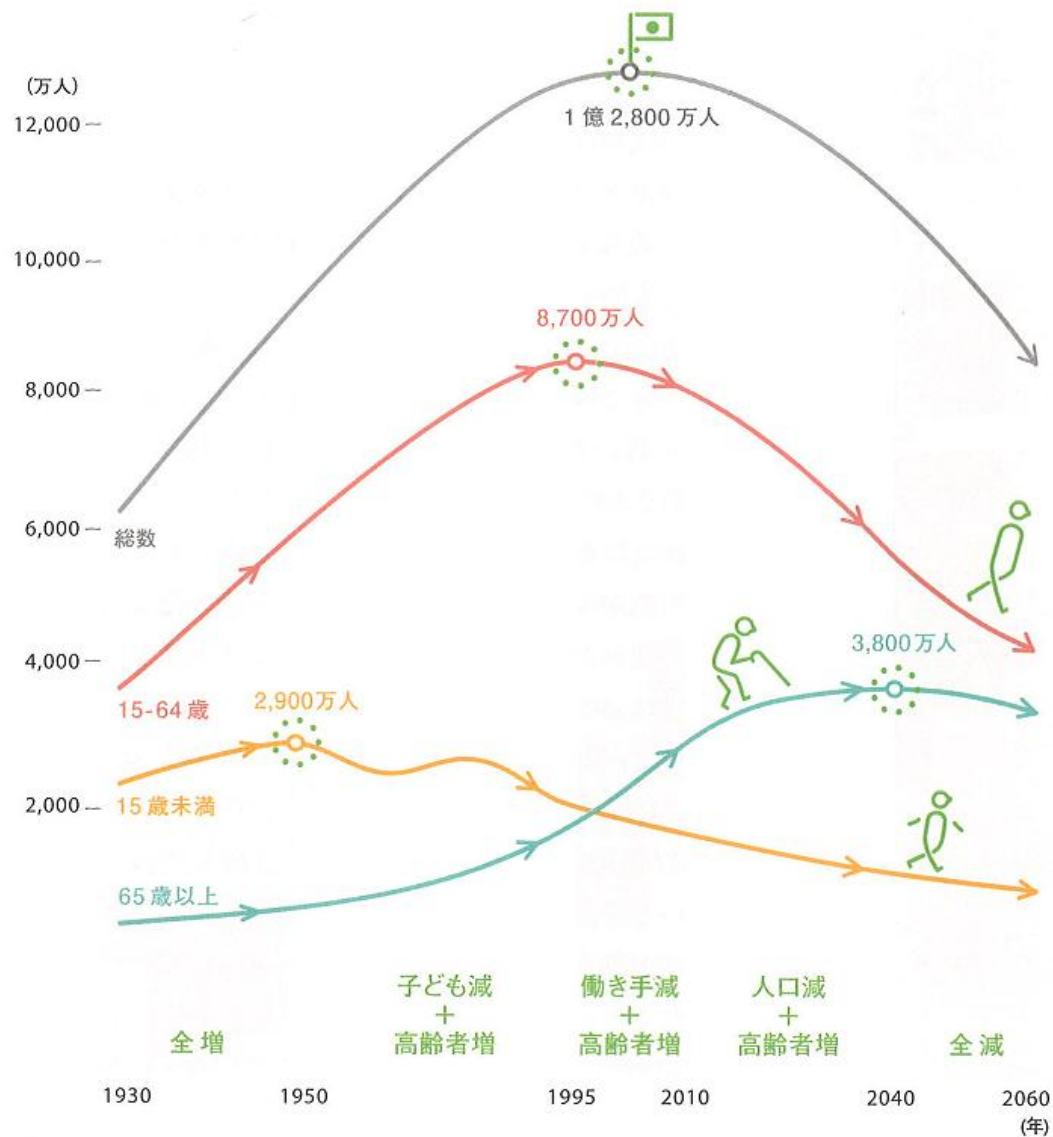
住み続けられる持続可能なまちを実現し、地域資源を効果的に活用した魅力的な地域社会を実現する

日本の総人口の超長期推移（- 2100年）



出典：人口減少×デザイン
著 筧 裕介

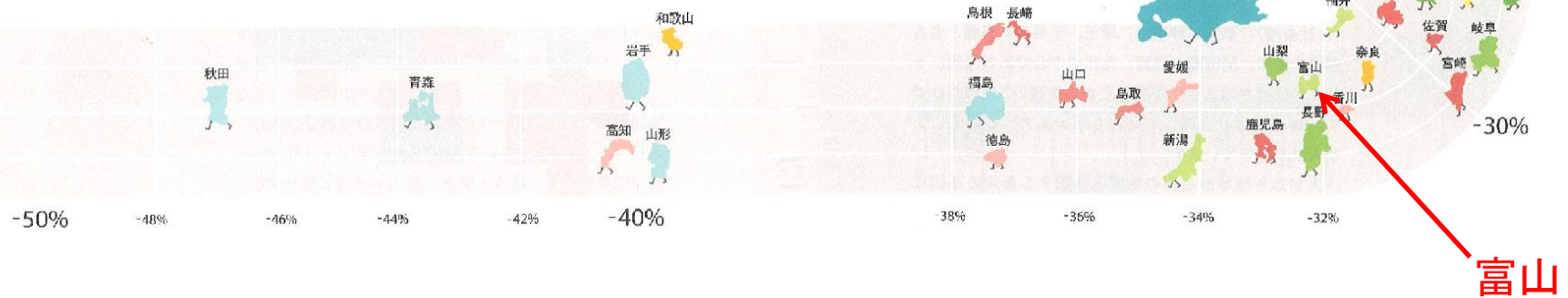
3 区分年代別人口の推移 (2012年1月推計)



出典：人口減少×デザイン 著 笥 裕介

2050年における都道府県別人口減少率（2010年比）

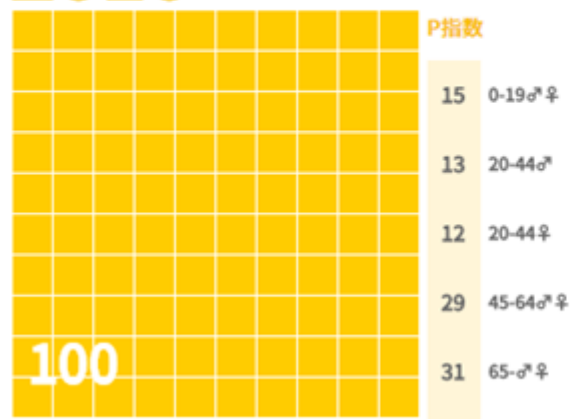
	2020年	2030年	2040年
1 秋田県	-11.7%	秋田県 -23.8%	秋田県 -35.6%
2 青森県	-10.0%	青森県 -21.0%	青森県 -32.1%
3 高知県	-9.3%	高知県 -19.5%	高知県 -29.8%
4 岩手県	-9.3%	岩手県 -19.4%	岩手県 -29.5%
5 山形県	-9.1%	山形県 -18.8%	山形県 -28.5%
43 滋賀県	+0.2%	滋賀県 2.7%	神奈川県 -7.8%
44 愛知県	+0.4%	愛知県 -2.5%	愛知県 -7.5%
45 神奈川県	+0.6%	神奈川県 2.4%	滋賀県 7.2%
46 東京都	+1.2%	東京都 -1.5%	東京都 -6.5%
47 沖縄県	+1.7%	沖縄県 +0.9%	沖縄県 -1.7%



人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



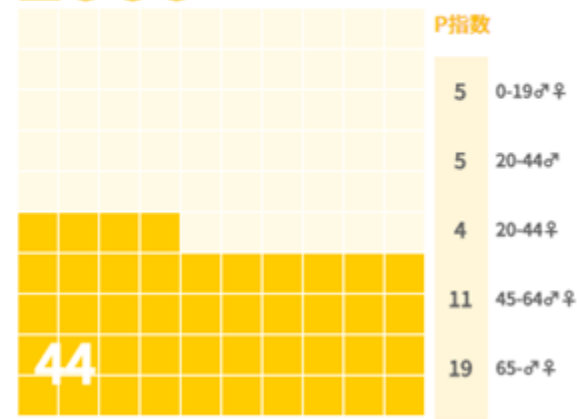
合計 約51,000人

+

なんの対策も
行わない

=

2060

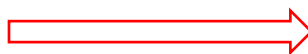


合計 約23,000人

氷見市全体の20～39歳までの女性人口

2010年

4,824人



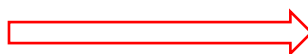
2060年

1,476人

宮田地区の20～39歳までの女性人口

2010年

461人



2060年

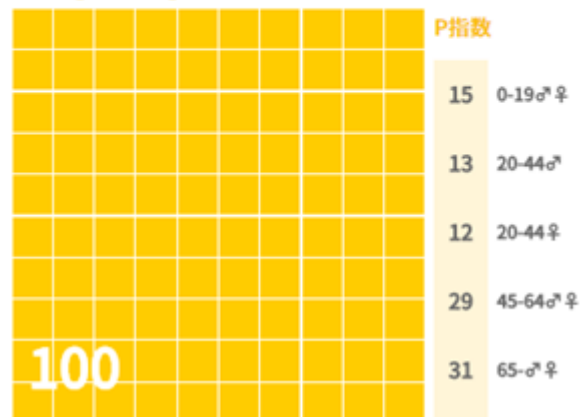
141人

※宮田地区の2060年の20～39歳までの女性人口については、宮田地区の2010年の人口に、氷見市全体の2010年→2060年の比率を乗じて算出

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計約51,000人

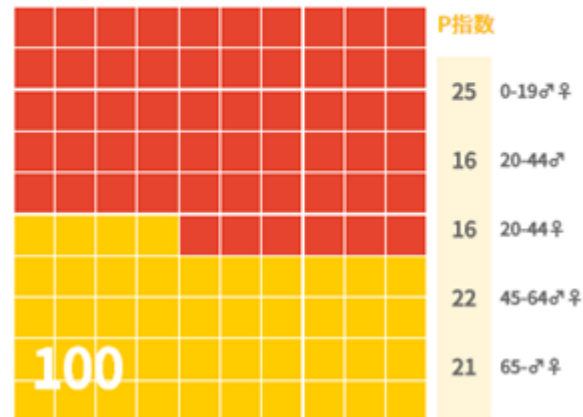
人口減少対策

合計特殊出生率
1.37 → 2.10

転入者数（年間）
180人増やす

転出者数（年間）
180人減らす

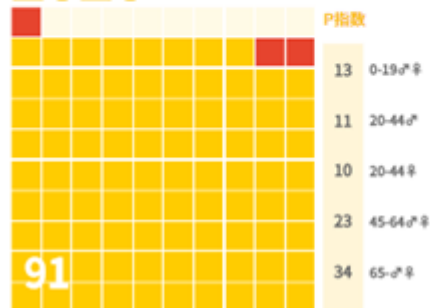
2060



合計約23,000人 → 51,000人

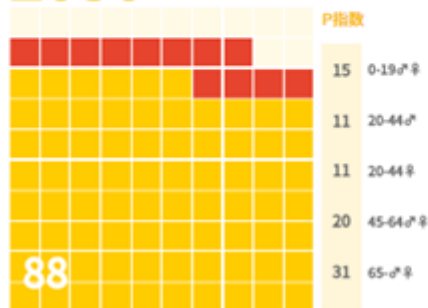
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から**2.10へ伸ばす**
転入者数（20-49歳）**613人→793人に増やす**
転出者数（15-24歳）**425人→605人まで減らす**

2020



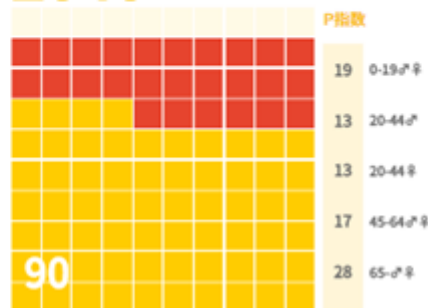
合計約45,000人 → 47,000人

2030



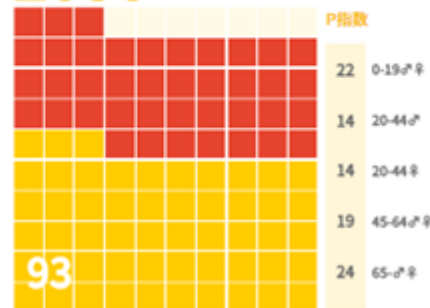
合計約39,000人 → 45,000人

2040



合計約33,000人 → 46,000人

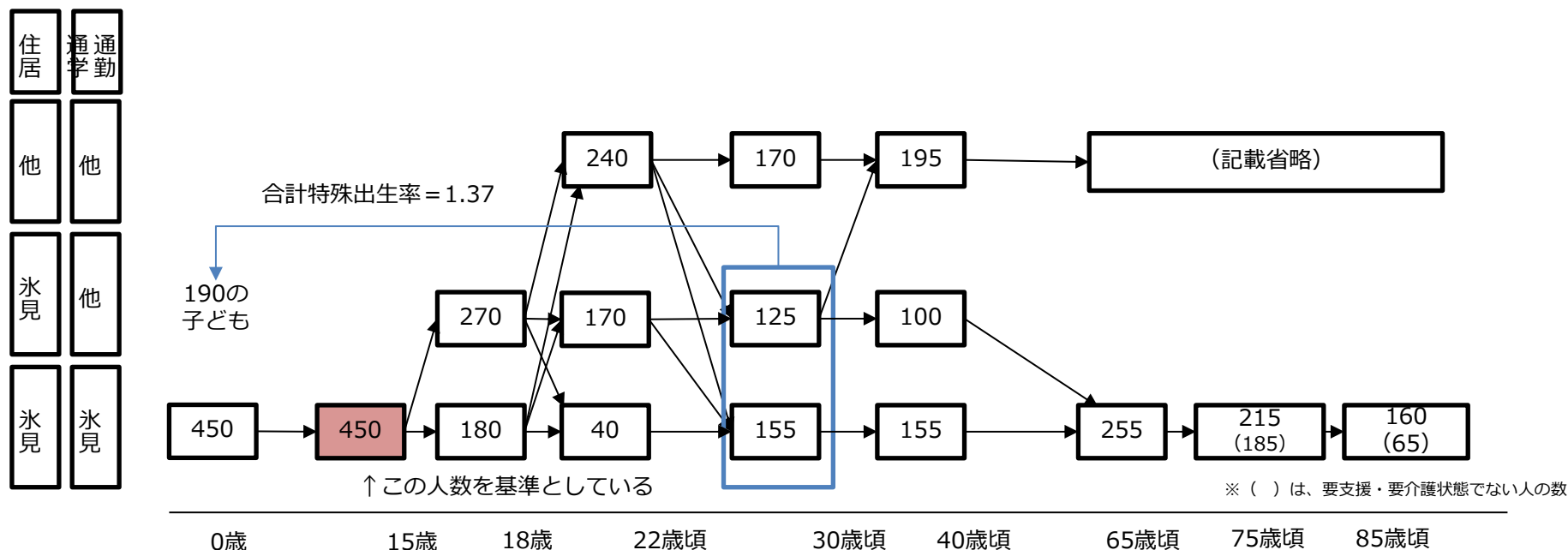
2050



合計約27,000人 → 48,000人

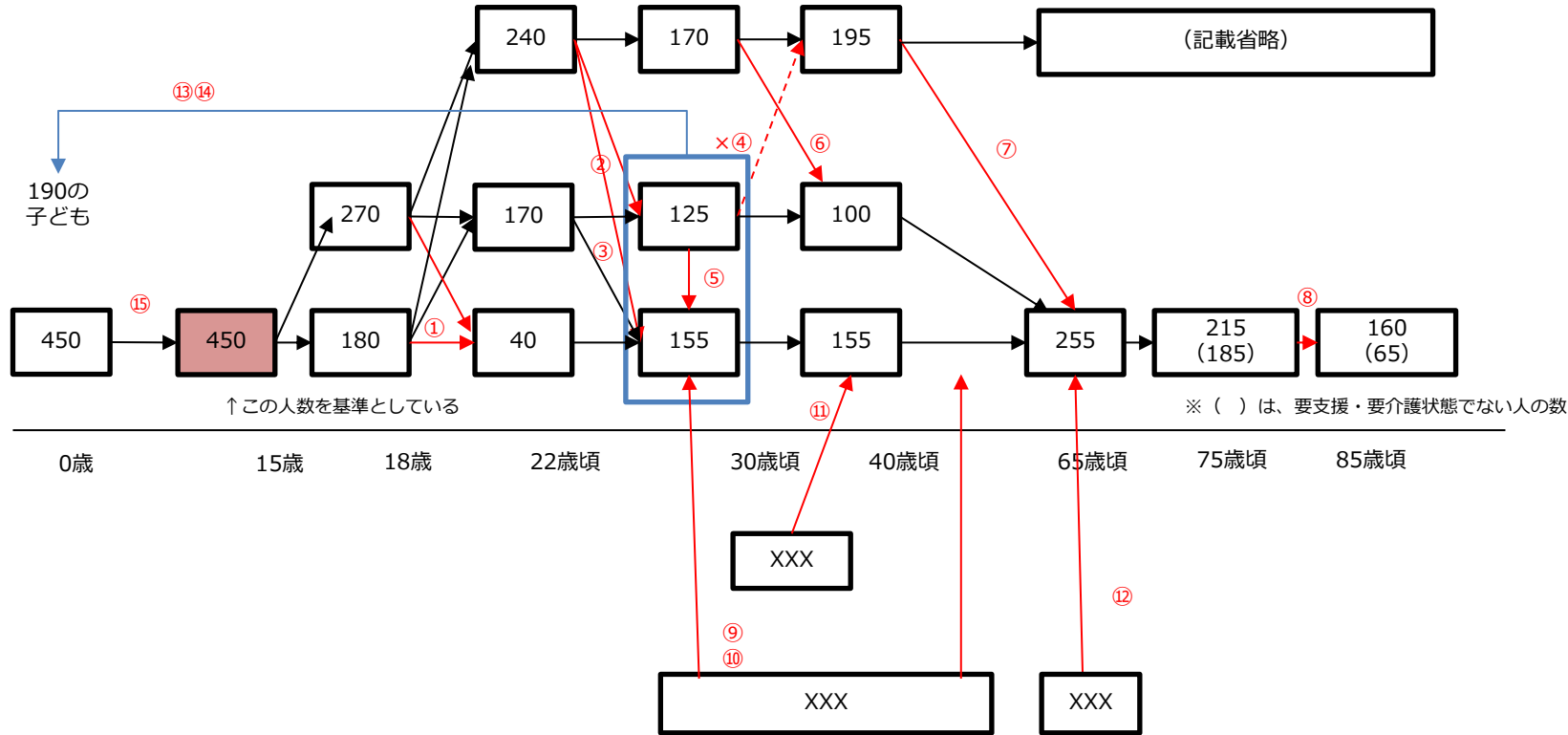
【現状】氷見市の中学生が卒業後に、どこに居住・通勤通学をするか？（※単位：人）

※450人（平成23年度～平成26年度に氷見市内の中学校を卒業する人数を参考とした数）を基準とした



※上記のモデルは、氷見市教育委員会資料（平成23年度～平成26年度の中学校卒業生の進路）、resas『富山県氷見市 年齢階級別純移動数の時系列分析』、S55～H22年国勢調査、とやま統計ワールド経由で取得した「平成11年富山県の人口」および「平成26年富山県の人口」、H25～H27ハローワーク氷見の資料、resas経由で取得した『人口動態調査』、公益財団法人 生命保健文化センター資料（元データは厚生労働省「介護給付費実態調査月報（平成26年7月）」 総務省「人口推計月報（平成26年7月）」）、国立社会保障・人口問題研究所の氷見市の生残率、住民基本台帳のH26出生数をベースとしてヒアリング等を踏まえて推計を実施。

【未来】希望をかなえ、持続可能な社会にするための「氷見市15の戦略」



- ①【しごと】氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす
- ②【ひとの流れ】20代のUターンを増やす
- ③【しごと】氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす
- ④【ひとの流れ】氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす
- ⑤【しごと】④のために、氷見市に子育てと両立する仕事を増やす
- ⑥【子育て】子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす
- ⑦【ひとの流れ】定年後のUターンを増やす

- ⑧【安心な暮らし】長生きをする&健康寿命を伸ばす
- ⑨【ひとの流れ】20~40代のIターンを増やす
- ⑩【しごと】20~40代のIターン者が就きたい仕事を増やす
- ⑪【ひとの流れ】他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす
- ⑫【ひとの流れ】定年後のIターンを増やす
- ⑬【結婚】婚姻数を増やす
- ⑭【出産】出生数を増やす
- ⑮【ひとの流れ】未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす

人口流出を防ぐ／流入を増やすために現状から積み増したい具体的人数

年あたり純移動数の増加人数
※現在の純減数を基準として、年間で更に積み増す目標人数

氷見市全体

宮田地区の場合

(氷見市全体の1／10の人数を記載)

【観点との関連】

- ⑮【ひとの流れ】未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす
- ①【しごと】氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす
※高卒の仕事に就いた瞬間に純増しないと想定されるので、ゼロとした
(⑤と⑪に寄与することを想定)
- ②【ひとの流れ】20代のUターンを増やす
- ③【しごと】氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす
- ④【ひとの流れ】氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす
- ⑤【しごと】④のために、氷見市に子育てと両立する仕事を増やす
- ⑥【子育て】子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす
- ⑨【ひとの流れ】20～40代のIターンを増やす
- ⑩【しごと】20～40代のIターン者が就きたい仕事を増やす
- ⑪【ひとの流れ】他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす
- ⑦【ひとの流れ】定年後のUターンを増やす
- ⑫【ひとの流れ】定年後のIターンを増やす

全体	150人の 純増
0～4歳→5～9歳	15
5～9歳→10～14歳	0
10～14歳→15～19歳	0
15～19歳→20～24歳	0
20～24歳→25～29歳	90
25～29歳→30～34歳	15
30～34歳→35～39歳	15
35～39歳→40～44歳	0
40～44歳→45～49歳	0
45～49歳→50～54歳	0
50～54歳→55～59歳	0
55～59歳→60～64歳	0
60～64歳→65～69歳	15
65～69歳→70～74歳	0
70～74歳→75～79歳	0
75～79歳→80～84歳	0
80～84歳→85～89歳	0
85歳以上→90歳以上	0
合計	150

約1.5人

約9人

約1.5人

約1.5人

約1.5人

約15人

※人数配分については、推進協議会を経た後で変える可能性があります

※社会純増の人数は年間の人数。推計条件に従った厳密な計算では、5年間の社会純増数を5で除いたものです。例えば、150人の純増のうち、20～24→25～29歳の人数は90人ですが、推計上は5年で450人という単位で計算したものです

地方創生に向けて、皆さんの知恵やご意見を！ 井戸端会議をしてみよう！

- ① 4～5人でグループをつくります。
- ② 各グループに市職員が入り、皆さまのご意見を記録します。
- ③ いただいたご意見は全体で共有し、今後、地方創生総合戦略を策定する際の参考意見とさせていただきます。

Q 1. 宮田校区内の地域づくり要望について

Q 2. 宮田地区へ、転入者を毎年5人増やすために、
どんなことをすればよいでしょうか。

Q 3. 宮田地区から転出者した方を、毎年10人戻すために、
どんなことをすればよいでしょうか。

意見交換

